

フォーラム 認知症新時代

# いきいきと暮らすために

～医療・介護・地域の支え合い～

認知症をとりまく状況は大きく変わろうとしています。認知症の本人たちが自らの思いを積極的に発信するようになったのです。

本人にできることはたくさんあり、自分らしく暮らし続けたいと考えています。

認知症はもの忘れだけではなく、病が引き起こす生活の障害と捉えることが重要です。

誰もが希望を持って生きられる社会を実現するために私たちは何ができるのか。

フォーラムでは、本人の暮らしを取材した映像を交え、最新の医療情報とともに社会の在りようを本人・医療者たちが語り合います。



イラスト/左藤芳美

参加募集中

日時 2015年 8月 29日(土)

開場/午後0時30分 開演/午後1時 終演/午後3時45分(予定) ※途中休憩あり

会場 明治大学アカデミーホール

住所: 東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン内

定員 800名 **参加無料** 事前の申し込みが必要です。  
申し込み方法は裏面をご覧ください。

交通

- JR中央線・総武線/東京メトロ丸の内線『御茶ノ水駅』から徒歩約3分
  - 東京メトロ千代田線『新御茶ノ水駅』から徒歩約5分
  - 都営地下鉄三田線・新宿線/東京メトロ半蔵門線『神保町駅』から徒歩約5分
- ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



# 出演者プロフィール

## 朝田 隆 あさだ たかし

東京医科歯科大学医学部 特任教授  
医療法人社団創知会 メモリークリニックお茶の水 理事長・院長  
東京医科歯科大学卒業。市立甲府病院神経内科、山梨医科大学精神科勤務。オックスフォード大学老年科留学。国立精神神経センター勤務を経て、2001年筑波大学精神医学教授。厚生労働省研究で全国の若年性認知症および認知症患者の有病率調査を実施。また認知症生活障害の研究を開始し、茨城県利根町研究から認知症発症を予測する血液マーカーを発見した。2014年東京医科歯科大学特任教授。今日に至る。筑波大学名誉教授。

## 紺野 敏昭 こんの としあき

医療法人館 こんの神経内科・脳神経外科クリニック 理事長・院長  
岩手医科大学大学院修了。岩手県内の県立病院勤務を経て、岩手医科大学神経内科学医局長。1998年こんの神経内科・脳神経外科クリニックを岩手郡滝沢村(現・滝沢市)に開業。認知症の人の診断のためには、その人の暮らしを見ることが重要と考え、2014年12月に認知症支援地域ネットワークを設立し代表を務める。また、今年7月に顔の見えるネットワーク作り(やまぼういツリープロジェクト)をスタートさせた。神経内科専門医、認知症サポート医など。

## 浅野 有子 あさの ゆうこ

医療法人社団八峰会池田病院  
介護老人保健施設涼風苑 リハビリ室長・主任介護支援専門員  
国立療養所厚済病院附属リハビリテーション学院作業療法学科卒業。長年にわたり、作業療法士として身体および精神障がい者の訓練、指導、支援に従事。2000年から現職。病によっては暮らしにさまざまな困難があるが、発想の転換や工夫で、誰もがその人らしさをあきらめず、朗らかに暮らせることを目指している。リハビリテーションの情報や、両親の認知症介護からも学んだ暮らしの課題を発信すべく活動中。茨城県作業療法士会副会長、茨城県ケアマネジャー協会副会長。

## 山本 朋史 やまもと ともふみ

週刊朝日編集部編集委員  
1952年、福岡県生まれ。毎日新聞社を経て1983年、朝日新聞社入社。横浜支局に配属された後、1986年から週刊朝日編集部へ。記者としてリクルート事件、KSD事件、オウム事件などを取材、副編集長を経て編集委員に。現在も編集委員として、取材や連載編集などに携わる。認知症予備軍と診断されての著作に「ボケてたまるか!」がある。

## 丹野 智文 たんの ともふみ

日本認知症ワーキンググループ メンバー、おれんじドア 実行委員長  
認知症当事者の一人でも多くの方に前向きになってほしい、認知症=終わりではないことを知ってほしいと願い、認知症当事者が同じ悩みを抱える当事者の話を聴くための窓口「おれんじドア」を開設。常に当事者のために何かできることはないかと考え、講演活動などに力を注いでいる。新オレンジプランについて政府要人と意見交換や雑誌などで対談も行った。宮城県認知症ケアを考える会世話人。認知症のひとと家族の会宮城県支部会員。

## 佐藤 充博 さとう みつひろ

1957年岩手県岩泉町生まれ。高校卒業後、自衛隊に入隊。除隊後は営業職を経て臨床検査会社に入社。集配業務に就くが、40歳の頃から手が震える、どもるといった症状が現れ始め、45歳の時にパーキンソン病と診断される。昨年頃から、もの忘れや幻視の症状も現れ、レビー小体型認知症と診断。在宅療養を続けている。

### コーディネーター

## 町永 俊雄 まちなが としお

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。



## 参加申し込みについて



### 入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

- 参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに
1. 名前(必ず個人名を記入)
  2. 郵便番号・住所
  3. 電話番号
  4. 参加人数
  5. 一緒に参加される方の名前(複数名の参加を希望される場合)を書いて、お申し込みください。

### お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル  
**NHK厚生文化事業団「認知症フォーラム東京」係**  
FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。  
ホームページ <http://www.npwo.or.jp/>

※当日の入場は『入場整理券(1枚で1人入場可)』が必要です。2015年8月中旬以降、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。  
※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤りおよび記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合がありますので、ご注意ください。  
※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

## 先着順

定員になり次第締め切り

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

認知症フォーラム東京	ふりがな	参加人数	< 一緒に参加される方の名前 >
	名前	人	
	※必ず個人名をご記入ください。		
住所 〒			
※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。			
電話番号			